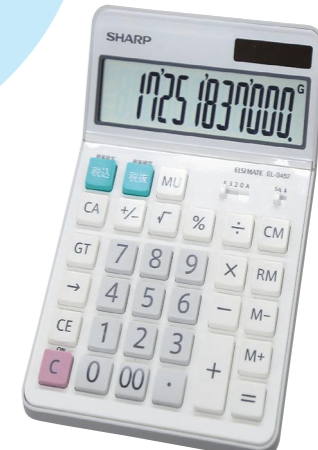
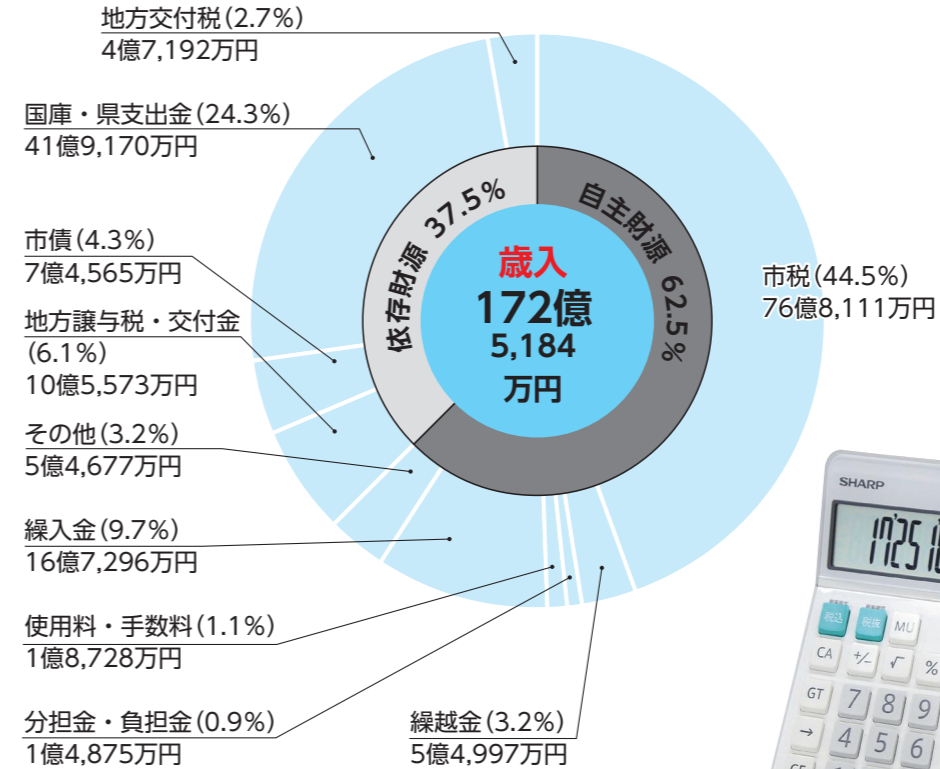


決算

前年度よりも3億5,268万円増額

歳入 172億5,184万円

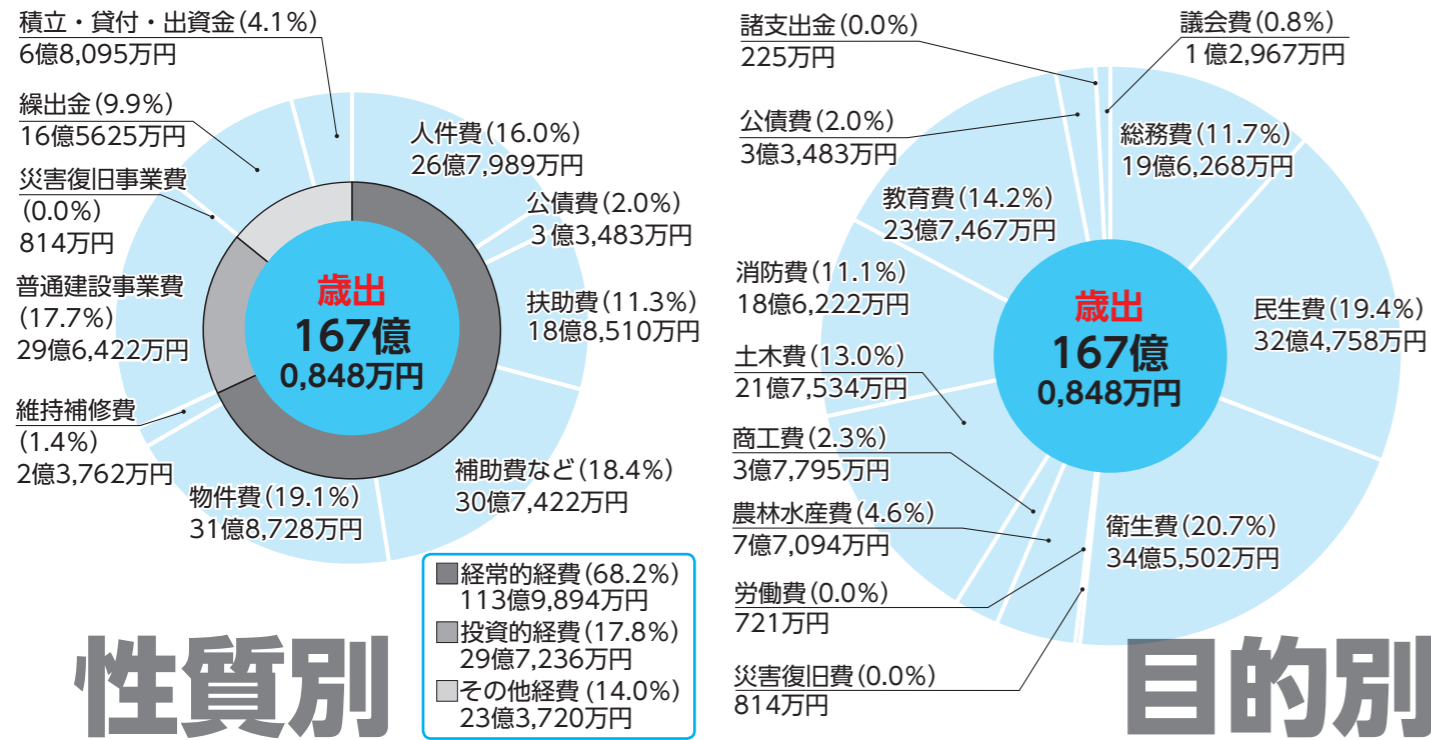


平成30年度決算がまとまりました。一般会計の歳入総額は172億5184万円、歳出総額は167億848万円となりました。財政の健全性を維持しています。

照会 財政課 ☎0537(85)1112

前年度よりも3億5,929万円増額

歳出 167億848万円



性質別

目的別

各会計決算総括表

単位：万円

区 分	歳入 (A)	歳出 (B)	差引 (A)-(B)
一 般 会 計	1,725,184	1,670,848	54,336
特 別 会 計			
国民健康保険	416,417	409,200	7,217
後期高齢者医療保険	33,180	32,153	1,027
介護保険	274,085	264,073	10,012
農業集落排水事業	30,850	28,084	2,766
下水道事業	76,923	61,172	15,751
工業団地建設事業	6	0	6
企業会計			
水道事業	101,521	95,550	5,971
資本的収支	12,771	25,730	△12,959
病院事業	518,589	531,072	△12,483
資本的収支	61,881	83,234	△21,352
合計	3,251,406	3,201,115	50,291

市の財政状況

健全化判断比率 単位：%

区 分	実質赤字	連結実質赤字	実質公債費	将来負担
市の比率	-	-	△0.3	-
早期健全化基準(黄色信号)	13.52	18.52	25.0	350.0
財政再生基準(赤信号)	20.0	30.0	35.0	-

※実質赤字、連結実質赤字は赤字がないため、将来負担は数値が低く、算出されないため「-」の表示。

資金不足比率 単位：%

区 分	水道事業	病院事業	農業集落排水事業	下水道事業
市の比率	-	-	-	-
経営健全化基準			20.0	

※市の公営企業会計は、資金不足額がないため「-」の表示。

決算の概要

平成30年度における一般会計の歳入総額は172億5184万円、歳出総額は167億848万円となりました。市の総人口は3万2541人(3月31日時点)なので、市民1人当たり約50万円が使われたことになりました。

翌年度への繰越額財源である8056万円を除くと4億6280万円の実質赤字となっています。ただし、前年度からの繰越金が4億6423万円あることから、単年度の収支としては143万円の赤字ということになります。

昨年度は厳しい財政状態の中、効率的に事業を実施しました。財政状態も基準をクリアし、財政状況の健全化を示す健全化判断比率や資金不足比率は、各項目とも早期健全化基準を大幅に下回っており、財政の健全性を維持しています。

歳入

歳入は、前年度よりも3億5268万円増額となりました。

内訳は、税金などの自主財源が62.5割、国や県の補助金などに頼った依存財源が37.5割です。

自主財源のうち市税は、固定資産税の減収などにより、前年度と比べ1億764万円減額の76億8111万円となりました。依存財源の中で最も多い割合は国庫・県支出金で、歳入全体の24.3割を占めています。

歳出

歳出は、前年度よりも3億5929万円増額となりました。災害支援物資拠点施設や消防出張所の整備などにより、消防費が前年度より6億7836万円増額したことが主な要因です。

平成30年度の主要事業の決算額は、市内2小学校(浜岡東・御前崎)への太陽光パネル設置に8694万円、災害支援物資拠点施設整備に1億5553万円、消防出張所整備に2885万円、小中学校でのICT支援事業に426万円、スポーツ振興プロジェクト事業に1845万円となりました。